吉武工務店

古民家再生プロジェクト開始

奈良県の築150年の家を改修

吉田丈彦社長

吉武工務店（大阪府東大阪市）は古民家再生プロジェクト「関西古民家LIFE」を立ち上げた。このプロジェクトは、古民家をフルリノベして、都会の人に過疎化したエリアをマッチングさせる事業。土地や空き家を仲介し、田舎暮らしに憧れる人へ紹介する。また、築150年の木造古民家をリノベーション中。2拠点生活したい人のモデルルームとしての活用や、無料宿泊施設体験も企画している。

同社が古民家再生を行っているのは、奈良県御杖村。母屋とは別に別棟があり、こちらも築40年以上経過している。

「母屋は茅葺屋根で、断熱もほぼないです。床下も沈んでいたので、ジャッキアップで床を上げて、壁にはサッシを新たにつけて断熱性能を上げています。新たにサウナも設置し、完成予定は5月末を予定しています」（吉田丈彦社長）

▲古民家の改修の様子はホームページでも掲載している

このプロジェクトを始めたきっかけは、自社保養施設の売却事例。以前は淡路島に、築80年超の古民家を改修した自社保養施設を所有していた。

「2021年に販売した結果、3000万円で売却できました。大阪のテレビ番組で取り上げられたら、欲しいという電話が殺到したのです。正直、大阪から車で2時間かかり、近所のコンビニまで30分かかるド田舎。売れないだろうなと思っていたら反響が大きかった。ド田舎暮らしに憧れるニーズがあるのかなと感じたので、今回の事業を始めました」

こどもエコすまい支援事業

予算申請額2割に到達

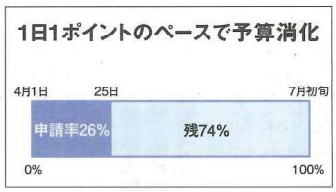
残り2カ月で終了か

▲こどもエコすまい支援事業のホームページでは、土・日・祝を除く毎日午前0時時点の予算に対する補助金申請額の割合が当日午前中に公表される

毎日更新中

予算に対する補助金申請額の割合（概算値）を毎日更新

政府による補助事業「こどもエコすまい支援事業」の予算に対する申請額の割合が、26%に達した。3月31日の交付申請開始から25日となるので、1日1%増のペースだ。仮にこのままのペースで進んだ場合、残り74日、約2カ月後の7月初旬を目途に終了となる。



ただし、昨年実施された「こどもみらい住宅支援事業」のケースでは75%に達してからわずか10日あまりで予算上限に達したため、さらに早まる可能性はある。事業者からは「間に合わないかもしれない」「いつ頃に枯渇するのか」といった不安の声が出ている。

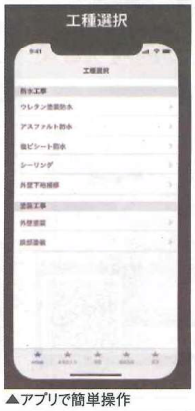
「お客様には、間に合わないかもしれないですが、それでもよろしいでしょうかと許可を得るだけでなく、その場合のご負担額にサインをいただいたうえで契約をしています」と話すのは、ある小売大手の社員だ。

同事業の予算額は1500億円。リフォームでは全世帯対象に最大30万円の補助金が出る。12月31日までの工事を交付対象としているが、補助金申請額が100%に達した時点で受付を終了する。国交省住宅局の担当者は弊紙の取材に対して、「私たちの方で進捗の予測を立てることは難しく、終わる時期については何とも申し上げられません。日々の進捗状況をご確認いただきたい」と回答している。

誠真工業

材料積算アプリをリリース

大規模修繕向けに4月から



▲アプリで簡単操作

誠真工業（千葉県八千代市）は、大規模修繕を行う職人や現場監督向けの材料積算アプリ「STIMA（エスティマ）」を4月にリリースした。

「若手の職人が熟練工並みの知識と経験を手に入れられる」を合言葉に開発した同アプリ名は、イタリア語で「計算する」の意味をもつ「STIMA」から名付けた。設計数量の迅速な把握と、実行予算の簡素化による工事品質の向上が目的。最前線で働く職人や職長、現場管理者とメーカーを円滑につなぐほか、施工管理の効率化と現場マネジメントの向上をめざす次世代型ツールとなる。

宮本貴嗣社長

アプリ開発のきっかけについて、自らの会社でも大規模修繕を行う宮本貴嗣社長は「あちこちで人手不足や人材育成の必要性を耳にするが、ワークフローの改善だけではなく、職人や、多くの現場を抱える現場管理者にとっては1日1時間くらいの業務短縮になるのではないか。彼らが的確にマネジメントすることで、正当な人事評価にもつながれば」（宮本社長）

アプリの利用料は1ユーザーあたり月額480円。紹介ページからダウンロードが可能。

生産性は向上しない。現場の職人や現場管理者が実行予算を組めて、それに基づいてマネジメントできるツールが必要不可欠だった」と話す。

同社は防水・塗装材料の主要メーカー7社の協力を得て、アプリ内で数百通りに及ぶ工法と材料を組み合わせて提示。工事現場にいながら手元のスマートフォンでの材料積算を可能にした。利用者は、塗装やシーリングの際にはこの商品、というように工程ごとに一つずつ商品を選択していく。正しい工法と使用材料量もあわせて表示されるため、より高い工事品質の担保に貢献する。

「アプリを使用することで、職人や、多くの現場を抱える現場管理者にとっては1日1時間くらいの業務短縮になるのではないか。彼らが的確にマネジメントすることで、正当な人事評価にもつながれば」（宮本社長）

アプリの利用料は1ユーザーあたり月額480円。紹介ページからダウンロードが可能。

新刊出版記念！
住宅事業者様必見！今、最も注目されている「資産になる家」
「金持ち父さん貧乏父さんの家づくり」
無料でプレゼント！
先着100名限定！
自然災害、電気代高騰、コロナウィルス… 先行きが不安な時代でも、
家族で安心して暮らせて、資産になる「金持ち父さんの家づくり」とは？
「金持ち父さん貧乏父さんの家づくり」
ザメディアジョン出版　定価 1980円

金持ち父さんが建てる家は…
・スマートハウスに住み、インセンティブをもらう！
・災害時に、我が家が避難所・発電所になり安心！
・EV車と蓄電池を活用、電気を買わずに賢く生活！
・正圧の空気でコロナに強く健康な住環境で暮らす！
■申込方法
お電話、FAX、メール、HPから承ります。会社名・お名前・ご住所・ご連絡先をお知らせ下さい。
※1名様1冊のお申込となります
＼もっと知りたい方は／
「金持ち父さんの家」を学んで体験できる！
無料Zoomセミナー・現地見学会を開催中！
お申込　株式会社 絆ジャパン　0120-77-2480
〒163-0637 東京都新宿区西新宿1-25-1新宿センタービル37階 FAX：03-6258-0059 MAIL：info@kizna-japan.co.jp
セミナー、見学会、本プレゼントのお申込はこちら▶